アミューズメント業界のリーディングカンパニー・マルハンが10年ぶりに会計システムを刷新

現場に寄り添う伴走支援で、90%超のペーパーレス化と月次処理の大幅な効率化・スピード向上を実現



株式会社マルハンは、旧システムの保守終了を機に10年ぶりとなる会計システム刷新を決断した。業界知見と親身な伴走体制を評価し、さくら情報システムをパートナーとして選定、「Biz∫」を採用した。2026年4月に本番稼働し、90%以上のペーパーレス化や自動起票による月次処理の大幅な工数削減、業務品質の向上を実現した。今後はBiz∫が標準具備する豊富な機能やAIを活用しながら、さらなる効率化や業務高度化を推進する。

導入経緯、および選定理由

Q 会計システム刷新に至った背景を教えてください。

従前のシステムが保守終了日を迎えることを契機として、現状抱えている課題を解決できるシステムをゼロベースで検討しました。
近年、クラウド型 ERPの導入が拡大してきた中で、従前のシステムでは現在の多角的な事業展開を支える会計基盤としては、将来を見据えた拡張性や柔軟性に課題を感じていました。
加えて、法改正のたびに発生する改修コストや手間の削減、機能面の不満の解決はもちろん、紙での伝票回付や手作業に依存したアナログな業務のペーパーレス化を推進し、さらなる業務効率化を図りたいと考え、10年ぶりのシステム刷新に踏み切りました。

Q さくら情報システムを「Biz∫」の導入ベンダーとして採用した理由を教えてください。

選定候補の数社のうち、最も高い評価点となったのがさくら情報システムでした。
当社は全国で幅広い事業を展開しており、会計業務にも独自の運用や要件が数多く存在します。そのため、新システムの選定では、ERPパッケージの標準機能だけでなく、当社固有の業務要件に柔軟に対応できるかを重視しました。
その点、さくら情報システムはアミューズメント業界への「Biz∫」導入実績があり、当社の業務や業界特性を踏まえた提案力に優れていました。また、レスポンスも迅速で、提案段階から将来的に想定される課題や対応策について具体的な示唆があり、他社に先駆けて課題認識を共有いただけたことも高く評価しました。
また、当社では大規模なシステム導入の経験が豊富なメンバーばかりではなかったため、伴走してくれるパートナーを求めていました。提案時から感じていたさくら情報システム担当者の誠実な対応や、当社の社風との相性の良さも選定理由の一つでした。「このチームなら一緒に仕事がしやすく、円滑なコミュニケーションを図りながらプロジェクトを進められる」と感じられたことも、選定を後押しする要因となりました。
導入を経た現在も、その判断は間違っていなかったと実感しています。

【 導入前の課題 】

- 10年利用した会計システムの保守終了日が迫り、法改正対応や運用負荷の増大が課題となっていた
- 証憑を電子添付できず、伝票の9割以上を紙で回付する非効率な運用が常態化していた
- 独自業務への対応と業務標準化の両立が求められる中、月次処理の効率化と人的ミス削減が課題となっていた

Biz∫（ビズ インテグラル）導入

【 効果 】

- AWS環境へ移行しインフラの運用管理負荷を軽減。新システムで法改正への対応力を向上
- 証憑電子化により90%超のペーパーレス化を達成し、紙伝票の回付・保管業務を大幅に削減
- Biz∫をベースに独自業務要件への対応と業務標準化を両立。自動起票機能の活用で月次処理の半日分の作業を短縮し、人的ミス低減と業務品質向上を実現

導入プロジェクトと導入効果

Q 導入プロジェクトについて教えてください。さくら情報システムの対応はいかがでしたか？

プロジェクトは、要件定義から本番移行までの一連のプロセスをさくら情報システムに伴走いただき、各工程が概ね計画通り順調に進みました。2026年4月の本番稼働時も大きなトラブルなく新システムへの移行を無事に完了しています。
さくら情報システムの業務品質の高さには大変満足しています。通常業務と並行しての導入プロジェクトであったため時間的な余裕がなく、当社からの情報提供が至らない点もあったかと思いますが、当社が提供した膨大なデータや資料を読み込み、しっかり理解した上で要件定義を行っていることが私たちにも伝わり、その仕事ぶりに感銘を受けました。
また、親身で丁寧な対応にも非常に助けられたと感じています。さくら情報システムが提唱した「Fit to Standard（ERPを導入する際、自社の業務をシステムの標準機能や仕様に合わせるアプローチ手法）」に対して、社内から「これまで使っていたシステムの機能は使えなくなるのか」といった不安の声も上がりました。それに対し、専門用語をなるべく使わずに説明してくれました。また「こうしたらできますよ」「少し改修すれば可能ですよ」といった提案を積極的にいただき、現場の不安は徐々に解消されていきました。
対面での打合せ依頼にも快く応じてくれるなど、対応は終始丁寧でした。打合せ用として用意した部屋がさくら情報システムへの「相談室」となり、当社の担当者が次々と足を運びました。「分かりやすく説明してもらえた」という感想が多く寄せられ、担当者の満足度も非常に高かったです。このプロジェクトを通して、さくら情報システムと一緒に成長していることを実感できました。

Q Biz∫を導入した感想や成果をお聞かせください。

最大の成果は、90%以上のペーパーレス化と大幅な業務効率化を実現できた点です。
新システムの便利な機能を活用することで、大幅な工数削減につながっています。
例えば自動起票機能を活用したことで、これまで月次処理で半日ほどかかっていた作業がボタン操作だけで完了するようになりました。手作業が減ったことで人的ミスのリスクも大幅に低減され、業務スピードと品質の両面が大きく向上しました。
また、システムのレスポンスも改善しました。本番稼働後も安定した運用を継続できており、長期利用への安心感も得られています。
AWS環境へ移行したことで、物理サーバーの運用管理に伴う負荷が軽減され、今後のシステム管理の効率化も期待しています。

今後の展望

Q 今後の展望を教えてください。

新システムの多彩な機能をもっと活用し、導入効果を高めていきたいと考えています。
業務効率化だけでなく、経営データの可視化や分析による意思決定の精度やスピード向上も今後の課題です。新システムでは、BIツール「ViewCreator」を活用し、データ加工や出力が容易になったため、今後はその活用を進め、より迅速に経営分析につなげていきます。
また、AIを活用した業務効率化を検討しており、AI-OCRの活用もその一つです。さくら情報システムには、新システムの保守、他社事例などの最新の情報提供を引き続きお願いします。

株式会社マルハン様

1957年、京都府京丹後市において名曲喫茶店「るーちぇ」開業を起点とし、その後パチンコホール事業を中核に事業を拡大。現在では、ボウリング、飲食、ビルメンテナンス、ゴルフ、金融など幅広い事業を展開する総合エンターテインメント企業グループとして成長を続けている。



グループユニット 経理部
経理一課 兼 経理二課
課長 北野　秀様



グループユニット 経理部
経理一課
小笠 佳穂様



グループユニット 経営企画部
情報システム課
エキスパート 山近 政之様



業界特有の要件に応え、万全な体制でサポート

マルハン様のRFPを踏まえ、迅速にご提案を行えた理由は、システム刷新の目的や期待、業務要件を明確に示していただいたことに尽きます。お客様のご要望にお応えできるようアミューズメント業界のお客様への「Biz∫」導入経験を持つメンバーをプロジェクトにアサインし、万全の体制で臨みました。
大きなトラブルなく本番稼働を迎え、安堵しております。プロジェクトを計画通り完遂できたのは、課題や実現したい要件を具体的にお伝えいただき、関連ドキュメントの提供や調査にも快くご協力いただいたマルハン様のお力添えがあったからこそです。深く感謝しております。
現在の保守フェーズでは、月例会で課題の棚卸しや改善提案を継続しています。AIの活用についても積極的にご提案し、マルハン様の事業成長を全力でお支えする所存です。

（さくら情報システム）

※記載されている会社名、サービス名等は各社の登録商標または商標です。

※掲載内容、法人名、所属部署、肩書きなどは 取材当時(2026.08)のものです。

関連製品・サービス
Biz∫（ビズインテグラル）導入ソリューション

ご質問・ご相談など、お気軽にお問い合わせください。
さくら情報システム株式会社　〒108-8650 東京都港区白金 1-17-3 ＮＢＦプラチナタワー
E-mail:solution1@sakura-is.co.jp　URL: https://www.sakura-is.co.jp/
代理店届出番号（電気通信事業者）: 第 C1917179 号

202611版